

【特集】学会統合，新学会成立を記念して

## 特集にあたって

中国経済経営学会第1回理事会（2014年4月27日，東京大学）にて本学会の初代会長に選出されました。中国経済学会の中兼和津次会長が中国経営管理学会との統合を発案した2010年6月（名古屋大学）から，両学会の実質的統合が完了した2014年5月までは，ちょうど4年間かかりました。中兼先生のお言葉を借りていいますと，両学会の統合は，同じ場所で大会を開き合同懇親会を催す「見合い」（立正大学，2012年）から，共同シンポジウムを開催する「結納」（京都大学，2013年）を経て，ようやく「結婚」に辿りついたという漸進的なプロセスで進められたものであり，それだけにこの統合はかなり円満なものと思われれます。

両学会の統合に向け，会則，理事選挙規定，学会誌等を巡って議論を重ねてこられた両学会の担当者，特に荒山裕行先生（名古屋大学），大原盛樹先生（龍谷大学），加藤弘之先生（神戸大学），木崎翠先生（横浜国立大学），丸川知雄先生（東京大学），李春利先生（愛知大学）はご多忙のなか，膨大な時間と労力を費やしてくださいました。この場をお借りして衷心より感謝の意を表します。

本特集は，両学会の統合と新学会の成立を記念して，両学会の設立から統合にいたるまでを振り返り，記録に残すことを目的として企画されました。

本特集では，まず，「特別寄稿」として，両学会の初代会長をおつとめになり，両学会の礎を築かれた藤本昭先生と南亮進先生（学会成立順）にご寄稿いただきました。次いで「設立から統合までの回顧」として，両学会「最後の会長」となった中兼和津次先生と丸川知雄先生が，両学会の統合に関する合意についてとりまとめを行なっています。そして新学会の会則策定の経緯と役員選出については，統合の諸作業に関して最も多くの労をとってくださった方のお一人である荒山裕行先生に詳細にご紹介いただき，さらに，両学会の事務局として尽力された江夏由樹先生（一橋大学），木崎翠先生，大原盛樹先生には，会員数の推移から両学会の歩みをまとめていただきました。最後に，両学会の設立趣旨，会則，大会記録などを資料として収録しています。

学会統合はいうまでもなく新しいスタートであって終わりではありません。両学会の設立から統合にいたるまでを振り返る本特集が、『中国経済研究』の新しいスタートを告げるものとなれば幸いです。

巖 善平

中国経済経営学会会長  
同志社大学大学院教授